



こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口明子 ☎047-767-5030

伊原 忠 ☎047-488-7207

飯川英樹 ☎080-1239-8132

日本共産党
八千代市議団
ホームページ

<https://jcp-yachiyo.jp>

日本共産党八千代市議団メール：kyousan@jcp-yachiyo.jp



第618号
2023年12月11日

発行
日本共産党
八千代市議会議員団
八千代市大和田新田
312-5

公務員の非正規職員化が進む

八千代市の公務員の実態は、正規職員は1,326人（男性882人で66,52%、女性444人で33,48%）。非正規職員は1,047人（男性160人で15,28%、女性887人84,72%）であり、職員全体の44%が非正規職員となっています。

正規職員には男性が多く、非正規職員には圧倒的に女性が多いことが分かります。ジェンダー平等社会の在り方から見ても、ゆがんだ実態が八千代市でも浮き彫りになっています。

これまでパート労働や非常勤雇用の公務員の方は、2020年から「会計年度任用職員」という名称になりました。この会計年度任用職員の待遇改善が求められています。

八千代市の公務員数	正規職員数：1,326人	
	男性882人 (66,52%)	女性444人 (33,48%)
	非正規職員数：1,047人	
	男性160人 (15,28%)	女性887人 (84,72%)

※2023年12月議会の一般質問答弁からの数字

会計年度任用職員は不安定雇用に不安を

国会の議論でも日本の経済成長の停滞は、働く人のコストカットが原因と指摘されています。公務員の人減らしも進んでいます。世界的に見ても日本の公務員数は少なく、特に、地方では、災害の時に行政からの支援が届かないだけでなく、災害を未然に防ぐための見廻り・点検が届かず、災害を誘発させている要因ともなっています。

民間では正規雇用への転換が認められているのに、会計年度任用職員には正規雇用への道が開かれていません、しかも、3年ごとに公募に応じ、採用されなければ働き続けることができません。「ハラスメントを問題にしたら契約更新されないか」、「育児休暇を申請したら次の契約は拒否されないか」、「年休や生理休暇もとりにくい」などの不安が増え、職員の立場が弱くなっています。

最低賃金を1,500円以上に引き上げ

会計年度任用職員の仕事には、恒常的な仕事もあるので定数条例を改正して正規職員を増やすことは可能です。専門性・継続性・公平性の確保と市民から信頼されて働いているのですから「雇止め」の不安をなくし、安心して働くことができるよう改善することが求められます。

賃金・給料についても、最低賃金のギリギリで働いている方も少なくありません。正規職員のように、ベースアップの際の4月にさかのぼっての支給も行なわれていません。

時給1,500円が当たり前という時代の要請の中、低賃金や男女の賃金格差改善なども必要です。

日本共産党は、住民の福祉・教育を支える公務員労働者の待遇改善と働き方改革のために開催中の12月議会でも質問を行い、改善に向け全力で取り組んでいきます。